

実習レベルと目標

対応する 主なDP		【DP3】看護の対象を理解し実践する力	【DP4】人や社会と関係を築く力	【DP2】科学的に探究し理解する力 【DP3】看護の対象を理解し実践する力	【DP3】看護の対象を理解し実践する力	【DP5】他職種と連携する力	【DP1】人間の尊厳を守る力 【DP6】プロフェッショナリズムに基づき責任を果たす力 【DP7】生涯にわたって研鑽し続ける力		
IV	個人 家族 集団 地域社会/ 環境	対象と環境との相互作用	対象の多様性を尊重し、関係を築くことができる。	・情報収集、分析、課題の明確化に基づき、看護計画の立案、実施、評価というプロセスを自立して行える。 ・看護および他の学問を統合して、科学的に探求し、表現することができる。	個別性に応じた安全・安楽な技術を、自立して提供できる。	多職種と連携・協働する方略を考えることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>看護学生としてマナーを守ることができる。</li> <li>誠意をもち、真摯な態度で実習に取り組む。</li> <li>自分の態度や行動から自己のあり方を振り返りながら、行動する。</li> <li>看護専門職としての役割、位置づけ、責務、態度について認識し、実践する。</li> <li>生命の尊厳と人権を尊重する行動や態度を示すことができる。</li> </ul>	看護実践を通して、お互いの看護観を共有・尊重し、自らの看護観を深める。	統合実習 包括ケア実習
III	個人 家族 集団	全人的理解（レベルⅡに加え地域性、文化、価値観など）	対象との相互作用を通して、関係を築くことができる。	・情報収集、分析、課題の明確化に基づき、看護計画の立案、実施、評価という一連のプロセスを踏める。 ・科学的に看護を考え表現することができる。	個別性に応じ、安全・安楽に技術を提供できる。	多職種の中での看護職の専門性を説明できる。		看護実践を通して、看護の専門性について考え、自らの看護観を深める。	各看護学実習 （成人Ⅰ・Ⅱ、老年、こども、母性、精神）
II	個人 家族	発達段階 健康状態 生活の変化、今後の生活への思い 地域での暮らし	対象との相互作用を通して、自己洞察ができる。	・看護実践に必要な情報を分析し、看護上の課題を抽出することができる。 ・対象に行われている看護の意味や根拠が分かる。 ・考えたことを論理的に表現することができる。	原理原則に基づき、安全・安楽に技術を提供できる。	多職種との連携の必要性を知る。		看護実践を通して、自らの看護に対する考えを明らかにする。	看護基礎実習Ⅱ 在宅看護基礎実習
I	個人	過去～現在の生活、思い	相手に関心を持ち、尊重した態度で関わりができる。	・看護の対象を理解するための情報とは何かがわかる。 ・論理的に考え表現することの必要性を知ることができる。	安全・安楽とは何かという原理原則が分かる。	多職種（他職種）の存在を知る。		看護実践を通して、看護に対する自らの考えに気づく。	看護基礎実習Ⅰ 老年基礎実習
レベル 要素	看護の対象	対象理解の観点	対象との関係	思考過程	技術	他職種との連携	専門職としての態度	看護観	対応する実習